

## ◆ヴィレッジアイランド：一般社団法人日本ケーブルラボ主催 第13回ラボワークショップに参加

株式会社ヴィレッジアイランド（本社：東京都港区、代表取締役社長：ヴァンドルフ ミカエル）は、2017年5月29日日本ケーブルラボ主催「第13回ラボワークショップIPビデオ時代のネットワーク品質評価」において、ネットワーク品質測定技術の最新技術について講演した。

弊社より既設のDOCSIS3.1 CATV 端末やネットワーク設備からの情報を有効活用したSkyline Communications社「DataMiner」やアクティブなOTTサービスの監視・接続経路の測定が可能なWitbe社「ロボット」、Sencore社「VideoBridge」を交え紹介した。

本セミナーではたくさんの業界関係者にご聴講頂き、弊社取扱い製品を使ったサービス品質監視や最新のネットワーク品質測定の有効性を理解できたとの好評を博した。

### ■製品紹介

- ・ Skyline Communications社「DataMiner」エンドツーエンドマルチベンダー対応NMS
- ・ Witbe社「ロボット」OTTビデオサービスモニタリング
- ・ Sencore社「VB120」IP配信モニタリングブレード

### 【問い合わせ先】

株式会社ヴィレッジアイランド  
営業窓口 sales@village-island.com  
URL: <http://www.village-island.com>

\*\*\*\*\*

## ◆フォトロン：国産・自社開発テロップシステム「TFX-Artist」 新バージョンVer.1.2 / Avid Media Composer 連携アプリ 発表会を開催

放送/映像関連機器の開発・製造・販売・輸出入を手掛ける、株式会社フォトロン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 布施信夫）は、国産・自社開発テロップ制作システム「TFX-Artist」の新バージョンVer.1.2及び業界標準の4K対応ノンリニア編集システム「Avid Media Composer」連携アプリ（プロトタイプ版）発表会を、フォトロン本社にて、2017年6月8日（木）に開催した。

### 【問い合わせ先】

株式会社フォトロン 映像システム事業本部  
電話：03-3518-6273 FAX：03-3518-6279

\*\*\*\*\*

## ◆Twitch、NewTek TriCaster® TC1 でE3イベントをライブ配信。～NDIでフルHDのIPライブプロダクション～

NewTek社（本社：米国テキサス州サンアントニオ市、以下、NewTek）と、ゲーマー向けソーシャルビデオプラットフォームとコミュニティを展開する米Twitchは、大規模なイベントE3のライブ配信プロジェクトで再度タイアップし、大成功を収めた。

Electronic Entertainment Expo（エレクトロニックエンターテインメントエキスポ、E3）は、世界最大のコンピューターゲーム関連の見

本市。通例3日間の会期では、展示会開始日前日に行われる各ゲームメーカーによる報道向け発表会から、講演、ワークショップといったカンファレンスや、ゲーマーミートアップなどが実施される。

Twitchがライブ配信したE3イベントの様子は、数十万人がリアルタイムで視聴しました。Twitchは、このオンライン報道システムに、NewTekがリリースした最新ライブプロダクションシステムNewTek TC1を採用し、Twitchのビデオ制作チームは、E3様子を本拠サンフランシスコとイベント会場をつなぎ、包括してイベントの様子を報道した。

「我々はTriCaster TC1をE3会場で使い、Twitch本社のスタジオにあるNDI対応のNewTekスイッチャーシステムと連携させました。」と、ビデオプロダクションマネージャーのアダム・コンティニは説明します。「視聴者にシームレスなライブ配信を提供するためには、NewTekのビデオ制作システムが不可欠でした。」

ハイプロファイルなイベントのビデオ制作は、慎重な計画と信頼ある確実な設備選択が必要です。Twitchチームは、サンフランシスコのスタジオで、NewTek IPシリーズを使い、IPベースによる同じワークフローを、E3の現場でも設備することを計画しました。

イベントに先立ち、TwitchはTriCaster TC1とNC1 I/O Connectモジュールを2セット、そしてTC1 LPコントロールパネルを導入した。これらのTC1システムは、イベント会場まで簡単に移動できるケースに組み込まれ、イベント現場でのプロダクションとして利用した、マイクロソフト・スクエアを見下ろせる、E3会場近辺のAXS TVスタジオで行った。

NewTekのTriCaster TC1は、ソフトウェアドリブンのビデオ制作システムです。IPベースのワークフローに最適なNDI™テクノロジーを搭載し、最大4K UHD 60pの16個の外部入力を提供します。TriCaster TC1は、ビデオサーバを搭載し、自動化マクロ機能、

クロマキー、ISOレコーディング、リプレイなど、全てライブビデオ制作に必要な機能を1つのシステムに備えたオールインワンのプロダクションシステムです。

AXS TVスタジオのSDI環境は1.5Gまでに限られていてフルHD（1080/60p）に対応する用意が整っていなかったため、TwitchはSDIとIPの入出力システムを持つNewTek NC1 I/O Connectモジュールを用いることで、シームレスにTriCaster TC1にフルHDのソースを入力しました。またE3の前日イベントのビデオフィードは、現場の中継車からAXS TVスタジオへ光ネットワークで転送され、NC1 I/Oモジュール経由でAXS TVスタジオ内の制作ネットワークへ取り込みを行った。

E3のプリショーからイベント開催期間を通して、Twitchはイベント会場からビデオソースを取り込み、ソーシャルストリームからグラフィックスをミックスし、シームレスにマルチカメラソースを使ったライブプロダクションを実現できたことで、視聴者を魅了する、臨場感あるイベントシーンを提供することができた。

### 【国内販売に関してのお問い合わせ】

株式会社ディストーム TriCaster 事業部 電話：03-5211-3208  
株式会社アスク 担当：山本 操 電話：03-5215-5650

## ◆日本マイクロソフトとパナソニック、パブリックセーフティ分野のシステム構築で協業開始

日本マイクロソフト株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長：平野 拓也、以下：日本マイクロソフト）とパナソニック株式会社（本社：大阪府門真市、代表取締役 社長：津賀 一宏、以下：パナソニック）は、このほど、安心・安全な社会を目指し、両社が保有するセンシング技術とクラウド技術を融合したパブリックセーフティ分野でのシステム構築に向けた協業を開始した。

国内外で多様化する安全保障上のリスクの高まりや事件・事故の多様化に対して、IT を活用した防犯・治安への取り組みが進んでいる。それに伴い、防犯カメラ映像や事件・事故などのデジタルデータが飛躍的に増加する中、それらのデータをさらに有効活用し、犯罪捜査やテロ・犯罪の未然防止等に役立てる、より高度なソリューションが求められている。

そこで、日本マイクロソフトとパナソニックは、世界の主要都市の警察機関などで実績のある関連情報を抽出表示し警察官や保安担当者の意思判断スピードを向上させるマイクロソフトの『リアルタイム指揮統制支援』システムと、パナソニックが北米の警察で急拡大を目指すウェアラブルカメラ映像などの『証拠管理』システムパッケージ「UEMS(Unified Evidence Management System)」を、海外での経験を生かして日本国内向けに、マイクロソフトのクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure（以下：Azure）」上で連携させる。

加えて、パナソニックの画像・音声認識などのIoT センシング技術を融合することで、異常事態発生の『予兆』を検知。『予兆管理』から『指揮支援』『証拠管理』にわたる統合システムを開発し、事件・事故の未然防止と早期解決につなげていく。

具体的には、群衆の異常行動などを検知すると、関連地域の地図やリアルタイムのカメラ映像、過去事件情報などを一元的に活用して、警察官を現場へ速やかに配置させることで、事件の未然防止につなげることが可能になる。

本システムは、異常、危険の予知検出から、事故の未然防止、そして現場での指揮支援、証拠管理が必要となる駅や空港などの公共エリア全般で役立つものと考えている。

日本マイクロソフトとパナソニックは、パブリックセーフティ分野で連携し、営業活動やイベントを通して、本システムの導入を推進し、2020 年に向けて、日本の安心安全な街づくりの実現に貢献していく。

### 【問い合わせ先】

パナソニック株式会社 企業・法人向けソリューション

\*\*\*\*\*

## ◆ソニー：人工知能(AI)を実現するディープラーニング(深層学習)のプログラムを生成できる「コアライブラリ」をオープンソース化

ソニー株式会社は、ディープラーニング（深層学習）のプログラムを生成する際のフレームワークとなるソフトウェア「コアライブラリ：Neural Network Libraries」を本日オープンソース化した。

これによりプログラムエンジニアやデザイナーは無償で公開されるこのコアライブラリを使用して、人工知能（AI）を実現できるディープラーニングのプログラムを開発し、各種製品やサービスに搭載できるようになる。また、オープンソース化を通じて、開発者コミュニティによるプログラムの進化も期待される。

ディープラーニングとは、人間の脳を模倣したニューラルネットワークを用いた機械学習の一手法。

このディープラーニングを従来型の機械学習に置き換えて使用することで、画像認識や音声認識の性能が近年飛躍的に向上し、ある領域では人間を超える性能も達成した。また、ディープラーニングは従来型の機械学習に比べて高い汎用性を備えていることが特長で、画像認識や音声認識にとどまらず、機械翻訳や信号処理、ロボット制御など広範囲な対象に応用されています。従来、機械学習が利用されていない領域でも新たな提案が生まれ、この応用拡大に伴いディープラーニングの開発者も急増している。

ディープラーニングのプログラム開発ではニューラルネットワークの設計作業が重要となる。開発者は画像認識や音声認識などに応じて最適なニューラルネットワークを構築し、性能向上へ試行錯誤を繰り返して、ニューラルネットワークを最適化した後、製品・サービスに搭載します。コアライブラリは、これら一連の開発工程を効率的に実現するソフトウェア（演算モジュール群）であり、以下の通りディープラーニングの研究開発に必要な要素を有している。

### 汎用的な実行環境

コアライブラリのコアは様々な環境（OS やハードウェア）で動作するプログラミング言語であるC++11 で記述されており、Linux、Windows をはじめ多くのプラットフォームで動作する。

**高効率な開発環境**：コアライブラリはディープラーニング開発で主流の、プロトタイピングがしやすく、開発効率が高いプログラミング言語、Python を用いて利用できます。少ないプログラミング量で直観的にニューラルネットワークの設計が可能のため、開発者はニューラルネットワークの設計作業に集中できるとともに、より効率的に短期間、低コストでディープラーニングを用いた技術開発ができる。

**多機能性**：革新の続く最新のディープラーニング手法に対応可能な柔軟性と表現力を備えており、動的なニューラルネットワークにも対応している。

**高速動作**：NVIDIA のGPU に対応したコアライブラリは、ニューラルネットワークの学習・実行を最速クラスのスピードで実行でき、より短い試行錯誤時間でディープラーニングを用いた技術開発ができる。

**簡易な機能追加**：日々提案される最先端のディープラーニング手法で新たな機能が必要になった場合にも、その機能を簡単に開発、追加することができます。例えばニューラルネットワークの構成要素である関数ブロックや、最適化モジュールの追加が簡易に可能。

**簡易な新規ハードウェアへの移植機能**：コアライブラリは新しいハードウェアへの移植も考慮したデザインを採用しており、例えばスマートフォンやIoT デバイス向けにも容易に移植が可能。

このコアライブラリをベースとして、これまでソニーのR&D プラットフォームシステム研究開発本部が開発したディープラーニング搭載の製品・サービスには、スマートフォンXperia™シリーズに搭載されている統合型拡張現実感技術（SmartAR）を用いたカメラアプリAR エフェクトや、行動認識技術を採用したLifelog アプリ、不動産売買の成約価格を高精度に推定する不動産価格推定エンジンなどがある。

ソニーは今回の施策をAI 環境整備の一環として実施します。今後多くの製品やサービスで人工知能の搭載による利便性の向上が期待されるなか、ソニーはコアライブラリのオープンソース化を通じて、より幅広い開発者、研究者に利用いただきプログラムの進化を期待すると共に、社会の発展へ貢献していくことを目指している。

## ◆計測技術研究所：非圧縮レコーダー「UDR-40Sシリーズ」および「UDR-N50A」向け 再生専用ビデオメディアの発売を開始



この度発売を開始したビデオメディアは、UDR-N50A、UDR-40Sシリーズ及びUDR-XL40専用のデータ用メディア。UDR-40Sシリーズでは4パック使用することで非圧縮4K@60p(12bit/4:4:4)の、UDR-N50Aでは1パック使用することで非圧縮4K@60p(10bit/4:2:2)の収録や再生が可能。UDR-XL40では1パックで非圧縮4K@40p(10bit 4:2:2)2系統の収録や再生が可能。

UDR-N50A用およびUDR-40Sシリーズ用メディアはホットスワップに対応しており、複数のビデオメディアを利用するシーンでは入替がスムーズに行える。また、遅延パリティ機能により1ドライブの内蔵メディア不具合まではコンテンツを復旧することが可能となる。用途に応じて二つのタイプから選択出来る。

### ■UDR-N50A/UDR-40Sシリーズ用 録再可能ビデオメディア 1.5TB/3.0TB/6.0TB/18.0TB

ビデオ信号の記録(REC操作)、再生(PLAY操作)は、DVI(UDR-40S)/3G-SDI(UDR-N50A)を使用して実現している。また、ネットワーク経由(100/1000BASE-T)で、画像データを入出力することも可能である。



※UDR-N50Aの場合 オプションで10GbEへも対応可能 18TBモデルはUDR-N50A専用の大容量ビデオメディアで、記録媒体にSSD(Solid State Disk)を採用している。QFHD(3840×2160/60p 10bit 4:2:2)やDCI4K(4096×2160/60p 10bit 4:2:2)の映像を非圧縮で長時間記録することができる。

### ■UDR-XL40用 録再可能ビデオメディア 5.0TB

ビデオ信号の記録(REC操作)、再生(PLAY操作)は、3G-SDIを使用して実現します。記録媒体にSSD(Solid State Disk)を採用している。また、ネットワーク経由(100/1000BASE-T)で、画像データを入出力することも可能。 ※オプションで40GbEへも対応可能。



## ◆計測技術研究所：非圧縮4K60p映像の再生に特化したビデオメディアを発売

株式会社計測技術研究所は、非圧縮4K60p映像の再生に特化したビデオメディアを販売開始した。希望小売価格はオープン。ラインナップは以下の通り。

- UDR-N50A向け再生専用ビデオメディア  
1.5TBモデル・3.0TBモデル・6.0TBモデル

## ■UDR-40S向け再生専用ビデオメディア

- 1.5TBモデル・3.0TBモデル・6.0TBモデル



同製品は、同社のビデオレコーダー「UDR-40Sシリーズ」および「UDR-N50A」を映像再生専用機として利用するための再生専用ビデオメディア。UDR-40SシリーズとUDR-N50Aは、2K/4K映像をカメラまたはネットワークを介して非圧縮に収録し、再生が可能。これらには任意の時間やフレーム単位でループ再生を行うなど、様々な再生モードが搭載されているが、同ビデオメディアを使用することで、再生を主目的とするユーザーが気軽にビデオレコーダーを使用できるようになっており、価格も抑えられているという。

同ビデオメディアは本体機器の電源を投入したまま脱着することが可能。その他にも、遅延パリティ機能に対応しており、ネットワークを介したデータ再生時に遅延が発生した場合、パリティを使った補間により速度を維持することができる。

### 【問い合わせ先】

株式会社 計測技術研究所  
電話：045-948-0215  
<http://www.keisoku.co.jp>

\*\*\*\*\*

## ◆カナリア株式会社：安定性の高い伸縮ポールをレンタルにて取り扱い開始

カナリア株式会社(以下、カナリア)は、安定性の高い伸縮ポールを、レンタルにて取り扱いを開始した。

通常の三脚型のポールはすぐに脚を広げることができるため利便性は高いものの、耐荷重があまり大きくなく点検器具を設置すると「しなり」が発生する。本製品は脚を組み立て式にすることで高い安定性を保ち、中心に太いポールを据えることができる。そのため三脚型のポールに比べて「しなり」が少なくなる。

点検器具の設置などに役立つ製品で、当社が製作・販売しているリモコン雲台システムとの相性も抜群である。



### 【問い合わせ先】

カナリア株式会社  
兵庫県神戸市東灘区森南町2-8-2savannaビル  
電話：078-453-5488  
URL:<http://www.canaria-net.co.jp>